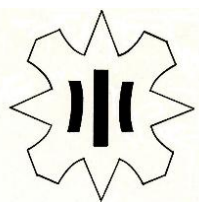


山中小学校学校だより



せせらぎ



令和7年11月号

山中小学校長

山井 浩栄

「学ぶことを楽しむことができれば、 結果は後からついてくる」

秋は「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」と言われるように、何をするにもよい季節です。10月にはノーベル賞の発表があり、日本人2人が受賞しました。そこで、11月の全校集会で紹介したのは、1921年にノーベル賞を受賞したアルベルト・アインシュタインの有名な言葉です。学校では、子供たちが「学ぶことを楽しむ」ようになってほしいという願いを込めて、この言葉を伝えました。学ぶことが楽しいと、もっとたくさんを知りたくなります。楽しいと、わからないことがあっても「やってみよう!」と思えます。そして、楽しい気持ちで勉強すると、頭に入りやすくなり、長く覚えていられるようになります。「学んでおもしろい!」と思えるように、先生方も授業を工夫していきます。これまでは学ぶ前から「難しい」「やりたくない」と思っていた子もまずはチャレンジ!して、少しでも楽しみを見つけてほしいと思います。



1年国語「じどう車くらべ」



3年算数「わり算や分数を考えよう」



6年道徳「うばわれた自由」



2年「生き物大すき!」



4年国語「未来につなぐ工芸品」



5年家庭「食べて元気!ご飯とみそ汁」

マラソン大会、授業参観、学校保健委員会

11月7日(金)に1日かけて3つの行事を行いました。とても気持ちの良い秋晴れの下、マラソン大会ではどの子も最後まで一生懸命走りきることができました。今年の学校保健委員会のテーマは、「よい睡眠の秘訣を探そう!」です。よい睡眠のための生活について保健委員会の子どもたちが発表した後、県教育委員会生涯学習課の岩崎



さんをお招きして「メディアの危険性と上手な付き合い方」についてお話をいただきました。からだの脳・おりこうさん脳・こころの脳を育て、健やかに成長していくためには睡眠がとても重要です。しっかり睡眠をとって、健康的な生活習慣を作っていけるといいですね。



縦割り活動「8の字跳び」

11月20日(木)のわくわくタイムに、縦割り班で8の字跳びの練習をしました。高学年が1年生や苦手な子に教える姿がとても素敵でした!

